

**鹿角市ふるさと・キャリア教育について**

**問** 現在市内に1500程ある事業所中、職場体験・職場見学に協力している事業所は167件と少なすぎると感じる。若者に残って欲しいのであれば、市内全事業所に協力を要請するべきと思うが、考えを伺う。

**答** 課題として、児童生徒が希望する体験内容と事業所の受け入れ内容とのミスマッチや、人数・時期・時間などの制約があげられます。受け入れ先事業所を増やす事は、学校や児童生徒の選択肢が増える事につながりますが、事業規模や事業内容によって受け入れが難しい事業所もあることから、現在登録されている事業所での受け入れが増えるよう、事業所と学校のミスマッチの解消と連携強化に優先して取り組んでまいります。

**答** 先進事例をそのままの形で本市に導入できるものではないため、本市の実情に合わせて、研修派遣の必要性を判断してまいります。

**出会い事業について**

**問** 予算見直しの中で、費用対効果で一番削られやすいこの事業だが、

現在、県の事業を通して、少子化対策と人口増に向けて県内では他にはない、県と民間と自治体の連携の形ができてきている。もっと市としての後押しとアピールがあってもいいと考える。すぐに結果に結びつくものではなくても、長期的な視点で予算を維持してもらいたいと思うが、考えを伺う。

**答** 出会い応援事業は、少子化対策の一番の入り口となる事業であり、結婚を希望する独身者からのニーズも高いことから、各関係機関や市民団体と連携し、官民共同でより多くの出会いの機会を提供するとともに、地域全体で結婚しやすい気運を醸成する取り組みを進めてまいります。

**市民ポイントについて**

**問** 奈良市の事例はとも参考になると考えますが、研修先として職員の派遣ができないか伺う。

**質問した項目**

■鹿角市ふるさと・キャリア教育について ■市民ポイントについて ■地域おこし協力隊の募集の仕方について ■出会い事業について ■市民アンケートについて



**金澤 大輔 議員**

(鹿真会・公明)

**高齢者福祉について**

**問** 尾去沢デイサービスセンターの廃止は、福祉サービスの切り捨てである。経緯と理由について伺う。また、介護予防の取り組みについて伺う。

**答** 平成11年度に開所した尾去沢デイサービスセンターは、オープン3年後の平成13年度には年間延べ5千人を超える利用がありましたが、利用者が年々減少し、平成29年度には年間延べ2145人と半数以下の利用者数となっております。

施設の老朽化も著しく、維持継続には利用状況に対してコストが過大になるとから、廃止することとし、既に同様の機能を有している福祉プラザ内の高齢者センターへ統合することとしたものです。

**問** 施設の廃止後の跡地利用についてどのようになっているか伺う。

**答** 現時点では未定であり、今後検討してまいります。

**公営合葬墓について**

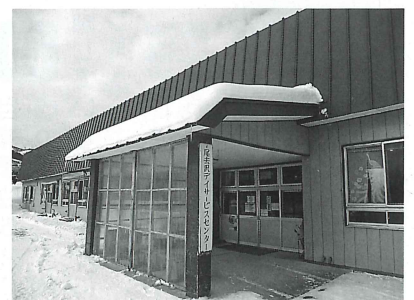
**問** 合葬墓を建設する自治体が出ている。市民からの要望もある。今は必要ないということではなく、将来的に必要という見地から検討していただきたいと思うが、考えを伺う。

**答** これまでに市民からの要望を受けていないこともあり、現在は早急な検討課題とする状況にはないと考えております。

**森林環境譲与税について**

**問** 森林環境譲与税に対する市の対応について伺う。

**答** 森林整備計画を見直し、活用手法や新たな森林管理システムの運用に関する項目を盛り込んでまいります。



尾去沢デイサービスセンター

**倉岡 誠 議員**

(誠心会)



**質問した項目**

■高齢者福祉について (尾去沢デイサービスセンターの廃止と介護予防の取り組みについて) ■公営合葬墓について ■森林環境税 (仮称)、森林環境譲与税 (仮称) について